



2021年、ファイナルリレーで優勝し、利用者・職員全員で喜びの様子

2023ほかには運動会が4年ぶりのサポーター参加で開催された。しばらくぶりで「皆さん来てくれるかな」と心配もあったが、当日は自校の運動会と重なって残念なお返事もあるなか70名を超える参加協力を得ることができ、雨天の開催を忘れて大盛況に終了できた。参加して頂いた皆様に感謝し、これからもみんなで楽しめる運動会を続けていきたい。

私は二〇〇二年入職であり、何やら制度が大きく変わるみたい、程度で障害者への支援は特段変わる事はないと感じていた。ただ、職員と利用者の関係性に変化が現れた。

かつては利用者の方が職員を「先生」と呼んでいた時代がある。呼称によって主従関係が発生し、本来大切に扱われる利用者に対し威圧的な言動に発展する起因と考える。

昨今では、利用者側が職員にたいして「さん」と呼ぶようになり、同じ目線で対等な立場であると考えられるが、結局は不思議なことに主従関係が出来て問題事件が発生する。そもそも、利用者というの「お客様（大切な人）」という思いで接しなければならぬ。本質に対して周りが変化しきれていないのである。

二〇一一年障害者虐待防止法が施行され十年以上経過しているが、未だに虐待事件が発生している。障害者だけではなく高齢者や児童など、社会福祉全体における「福祉＝幸福」という本質を見失っているのではないだろうか。

福祉従事者＝良い人（性善説）という時代となるよう、福祉を必要とするすべての人に、変化し続けていかなければならない。

紹介致します！

グループホーム悠炉里の利用者である松浦さんと小笹さんの仕事は当法人のデイ雲で職員として勤務をされています。

松浦さんは今年65歳を迎え、デイ雲に27年勤務されています。仕事では手先の器用さや経験を活かして何かと頼りにされています。基本的に無口で少し言葉が足りないとありますが、他の職員より利用者の気持ちを理解できており、保護者からも信頼されています。



小笹さんは、やはた共育大学を卒業し「人と関わる仕事をしたい」と話があり、当法人のデイ雲に相談し、実習を経て就職する事が出来ました。3年間デイ雲に勤め、最初よりも1時間勤務が伸び、今では7時間勤務です。本人の意欲も高まり今は常勤を目指して仕事に励まれています。利用者への声掛けの優しさや人当たりの良さには好感を持たれています。

最後に本人達から仕事のやりがいや今後について聞いてみました。
○松浦さん「利用者さんに関わるのが楽しい。歳を重ね年々身体がきついが身体が動くまでは頑張りたい」
○小笹さん「松浦さんが自分にとって、良い手本になっている。今後はヘルマンハーブを頑張りたいヘルマンハーブをみんなに知ってもらいたい」と話してくれました。

お互いに切磋琢磨して頑張っています！（主任 大場康生）



地域の方の声

今回は、加津佐町での新鮮食品を買うならこの店、「フレッシュもとやま」の本店店長さんにお話を聞きました！

（有）元山商店 本店
店長 元山 健三



利用者さんのことを何も知らない、初めの頃は警戒していましたが、店に買い物に来て挨拶をしてくれたり話しかけられるうちに、頑張っている事が分かり、応援するようになりました。

現在では、グループホーム悠炉里へ当店の食材も納入するようになり、関係性も深くなっています。

これからも、地域で支えるように見守っていききたいと思っています。



発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀 俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



変わらない幸せ 変化する福祉

悠炉里 施設長 志賀常盤

障害福祉における本質と変化を考えてみる。大きな転換を迎えたのは二〇〇三年支援費制度導入である。措置制度から契約制度となり、利用者が施設を選ぶ制度、つまり福祉施設の経営はお客獲得型になった。とはいえず、すでに利用している障害者が、その日からお客様であるという認識を持った職員は多くないであろう。

特集

ほかにわコンサート ～音風そよぐ夏のおもひで～

八月七日に加津佐青年婦人会館にてほかにわコンサートが開催されました。デイ雲ヘルマンハーブ隊による演奏、ボーカル・アンサンブルカノンの皆さんによる合唱、バリトンコンサート（オペラ）の方が出演されました。ハーブの音色や合唱等が会場いっぱいに響き、盛大なコンサートでした。ほかにわコンサートに出演されたヘルマンハーブ隊、職員、地域の方にそれぞれ感想を尋ねてみました。その中から一部を紹介させていただきます。ご協力頂いた皆さんありがとうございました。

ほかにわコンサートに突然のお誘いをいただきました。ヘルマンハーブ隊の美しい音色、ボーカル、バリトンと聴き慣れた曲に若い頃を思い出しました。ノリノリでマスクの中は自分の声で弾けていました。本当に素晴らしかったです。小さな町の小さな会館で心踊る時を過ごせるなんてもう感動の一言です。ほかにわの皆さんありがとうございました。（加津佐町在住の方）

ほかにわ共和国の動き

11月11日

ほかにわ神社祭

12月末頃

理事会

1月5日

新年職員研修会

※中止・延期になる場合があります。



最後はみんなでほかにわ共和国の歌を熱唱！

ほかにわコンサートに「ボーカルアンサンブル・カノン」への出演依頼に快く受けてもらい感謝しています。出演する以上は音楽の良さを利用者の皆さんにわかってもらうためにどう演出したらいいか考え、私も演奏に加わることで身近なものであることを認識することが大切です。親しみやすい曲目、また理事長の曲を演奏することで一段と興味が出るかと思ひ、佐賀県神崎市に五回程、練習と指導に伺いました。心を揺さぶる演奏ができたと思います。ありがとうございました。今後機会があれば是非演奏ができましたらいいと思います。（草野修）



オペラ&ピアニスト



（デイ雲ヘルマンハーブ隊）

Q) ほかにわコンサートに出演してどうでしたか？

「間違えないように演奏できて良かったです」

「楽しく出演できて良かったです」

Q) 今後の目標は何ですか？

「いろんな場所へ行って演奏をしたいです」

「今後もヘルマンハーブの演奏を続けていきたいです」



ヘルマンハーブ隊による演奏

私が働くきっかけ

私と福祉の仕事のつながりは幼い頃から利用者さんとの関わりがありました。

出身は町内の小学校で運動場の下に施設の畑があり、作業に通われていた利用者さんと挨拶をかわしたり、自然と触れあいができていました。大人になってからは関連施設のアパレル作業所で一緒に働く機会があり、その頃にデイ雲が設立され「利用者の送迎」をしませんかとお誘いがあり、福祉の仕事に就くこととなりました。「福祉」の何も知らないまま働きながらの学びでした。ヘルパーの資格を取得後介護福祉士を取得しましたが、資格よりも日々の関わりで仕事として成長させてもらったと思います。

これからも日々の中で健康に気を付けて過ごしていけるよう工夫をしながら利用者さんと活動していきたいと思っています。

（主任 山本智恵美）

売りたいか。なう@

秋といえば「食欲の秋」ですね。

今回はさつまいも「紅はるか」を紹介します。

紅はるかは芳醇な香りと高糖度が自慢のさつまいも品種です。ねっとりした甘い食感が大きな特徴です。焼き芋、蒸し芋、スイートポテトなどがお勧めの食べ方です。

他にも島原半島特産品を準備しております。秋の夜空を眺めながら、秋の旬を味わって頂ければと思います。秋のびっくり箱を宜しくお願い致します。

びっくり箱担当 酒井敬一



MYZUM MYZUM MYZUM

私は、図書館に行くのが好きなのでお気に入りの本を紹介します。それは、誰もが知っている手塚治虫さんの「火の鳥、未来編」です。物語は西暦三四〇四年から始まります。地上では住むことができず、地下での生活、政治もAIで決めていく。AIに頼りきった結果、地球上の生物は…。それから何十億年も経ち、ある生物が地球上を支配しています。いったい何だと思えますか？しかし、その生物も…少しでも気になった人は、ぜひ読んでみてくださいね。（ワークネットやはた 天本直子）





サポーターの皆さんありがとうございました

近年の運動会はコロナ禍の影響もあり自前での運動会を行ってききましたが、今年度はコロナも5類となりほかにわ共和国の地域との関わりと絆を深めるため来賓・保護者・招待施設、サポーターの参加協力のもと、盛大に開催できました。保護者の方も競技に参加され、楽しませていただきました。小・中・高・専門学校まで協力依頼の案内をしたところ総勢70名の方がサポーターとして参加して頂きまして、

利用者支援・各係りに携わり、秋風の中、共に共汗できる大会となりました。今回体育館での開催となったことで競技内容は一部変更となりましたが、屋内でも楽しめる運動会になったのではないかと思います。今後とも地域との関わりを大事に事業運営に取り組んでいきます。

(統括 中村久人)



歩行訓練の様子

今年6月より毎週火曜日に作業療法士によるリハビリを実施し、上肢機能維持・回復訓練を中心に利用者個人に寄り添ったリハビリを行っています。食事の際は自助具を必要な人に作業療法士自ら作成した自助具使用したり、おはじきを用いてスプーンや箸の使い方を繰り返し訓練しています。リハビリ後2～3日は食べこぼしが減ったり、食事する時間が短縮するなど成果が見えているようです。

毎週火曜日の午前中になると、みなさんの方も笑顔で2階プレイルームに集まり、いつもと違う笑顔でリハビリ活動に参加していました。支援員もリハビリ活動を習得し利用者支援に活かしていきたいと思います。

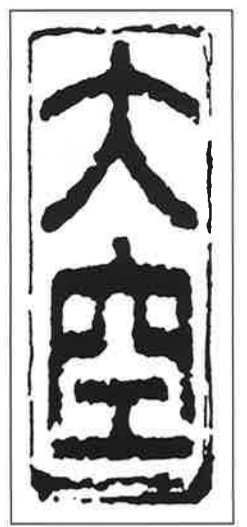
(山田かおり)

ほかにわ秋季大運動会が5年ぶりに西有家町須川港多目的防災広場での開催予定でしたが、当日は雨天の為、南有馬体育館での実施となりました。



宝釣り 何が入っているかな...

待ち遠しいリハビリテーション



障害者支援施設
八雲寮広報部



今後の行事

11月
ほかにわ神社祭
秋の遠足

12月
クリスマス会
八雲寮利用者忘年会



訓練がんばっています！

小グループ活動(お絵描き)

毎日の寮生活から非日常空間を求めて、東望へ移動し、ひとときの楽しい時間を過ごしました。大きな模造紙に大好きな絵、マーカーペンを使って一心不乱に描いている様子を見てみると、つい笑みがこぼれてしまいました。お絵描きすることで気分転換になったと思う。これからも楽しい小グループ活動を計画していきたいです。

(福田義郎)



何を描いているのかな...

千代垣荘のフリータイム

休日には普段できない掃除や不燃物の整理などを自分たちで行い、地域の一員として関わりを持ちながら生活を営んでいます。その中で文字や数字に触れる機会として現在「点つなぎ」に取り組んでいます。「点つなぎ」とは数字の順番通りに点と点を線でつなぎ、動物等絵の輪郭が出来上がるペンシルパズルです。情緒安定の為に「点つなぎ」をグループや個人で行い、完成した時の達成感も体感できています。



点つなぎをがんばっています

従前より農業を生業にしてきた八雲寮も現在は高齢化に伴い、作業活動とその従事方法に大きな変化が生じている。この危機を乗り越えるにはこれまで培ってきたものを活かして作る自給自足の考え方を、これまでとは違う形で取り組んでいく必要があるのではないかと考える必要がある。栽培は難しくとも収穫の喜びは昔から行なってきた訓練の成果物でもあり、今からでも少し視線を変え、この取り組みでいけるのかもしれない。端的に言う「農作物の工場」として生育に必要な安定した環境づくりから整えなおす必要があるのではないだろうか。

(統括 白倉和裕)

じゃがいも雑感！

がんばらんば宣言

今回ご紹介するのは・・・？



佐藤浩史さん

毎日、日記を書くのが楽しみです。算数・国語のドリルで勉強しています。

にゅるも

10月号 No.211

令和五年夏休みの思い出

約四十日間の長い夏休みは子どもたちにとっては一年の中でもっとも嬉しい期間であり、二学期の学校生活にとっても影響が及ぶ時期だと思います。デイ雲の放課後等デイサービスでも、夏休みが充実した期間になるよう工夫をしています。

今年も学校から夏休みの宿題がたくさん出ており、デイ雲では午前中を毎日学習活動の時間に充てて取り組みました。毎日自分で決めた枚数をコツコツと進める子や、一日で何ページも黙々とやり終える子どもなどさまざまな様子が見られました。

今年は午後の活動で週三回、中庭でのプール遊びを行いました。暑い日ばかりで、



プールの水がとても冷たく感じられたようです。



今年も旬の梨狩りを体験！

9月初旬、今年度の小グループ活動の内容アンケートで一番人気だった、梨狩り体験へと行ってきました。今年是有家町の松尾観光梨園さんへお願いしました。

当日は皆さんウキウキ気分が出発。目的地に着くと席に通され試食用にと梨をいただきました。「美味しい！」の声をあげながら、次は梨園の方から収穫のコツと手本を教わる事となりました。説明を受け梨園に行くと大小様々な梨が頭の上にいっぱい。どれかな、どれかなと確認しては美味しく実った梨狩りを楽しまれていました。帰路は収穫した梨の見せあいっこで話が弾んでいたようです。（高松）



赤い羽根号が納車されました。



8月に長崎県共同募金会様の助成により赤い羽根号（日産セレナ・8人乗り）が納車されました。主に午後からの児童の送迎に活躍しています。これから大切に使用させていただきます。（小山）



今回ご紹介するのは中山光雄さんです。中山さんのマ イブームは「貼り絵」。いつも作品は大きな紙に4〜5人で作成するのですが、手に持っているA4サイズのものはひとりで取り組みました。とても繊細な作品です。これからもどんどんチャレン ジされるそうです。



雲と虹

行事予定 11・12月

紅葉見物
クリスマス会
利用者忘年会

※状況により延期・中止になる場合があります。

この紙面が発行される頃には運動会も一段落している頃ではありますが、一日一日がとても早く感じられています。

今年四月の辞令交付で副主任を拝命し半年近くが経過しました。毎日が忙しくもあり沢山の事柄に対応するなど、一般の職員の時とは違った経験が出来ています。未だ精一杯の日々ですが、早く、仕事に追われるのではなく、自分が追うようになりたいものです。

副主任となり間もないですが沢山の事を経験できました。これから培った事を経験値として、今後の事に生かし一步一步を踏みしめながら前進して行きたいと思います。これからもよろしく願います。

副主任 高松 豊

悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)

悠炉里広報誌

余暇活動から学ぶ

ここ三年程小グループ活動も中止していましたが、コロナも落ち着き、ようやく今年から復活することになりました。今年は日帰り旅行から始めるということで利用者さんへアンケートを実施し、希望の多かった一位…買い物、二位…温泉、三位…遊園地となりました。

第一回目として、九月十三日福岡の大型商業施設(ららぽーと福岡)へ二十一名で行ってきました。

久々の遠出ということもあり、気分も盛り上がり、ショッピング、飲食と多に楽しめました。支援者が思っている以上に、利用



ららぽーと福岡名物、ガンダム広場にて

10月号



スポットライト



玉垣荘の片山正男さんは、農閑期で仕事が休み期間中、毎日

ホームのみんなの為に、夕食を作ってくれます。分からない料理の時は自分なりのアレンジをしたりと、お手の物です！テレビと甘いものが好きな片山さんは、みんなへ声掛けをしてくれるリーダー的存在です！これからも頼むよ！片山さん！！ (原川)



買い物を満喫中！

生活支援員 綾部佐吉

女だもん♡カラオケ誕生会

みんなが休みの日曜日に、スカイハイツ女性利用者全員と、担当職員三名でカラオケ誕生会を実施しました。自分の好きなケーキを選び、南有馬のカラオケボックスで乾杯をしました。振り付きで歌ったり、合

いの手なども出たりして、とっても楽しめたようです。帰りの車内では、今度はいつするの？と早速みんなから質問が絶えませんでした。(谷口)



♪私が～おばさんになっても～♪



した♪ (谷口)



「家族の思い」



保護者の方からの貴重なご意見が聞けました！

ほかにわ共和国に入所した当時、皆様にご迷惑、ご心配をかけていた弟も、還暦を過ぎてやっと落ち着いてきたように感じます。

時々電話をくれる弟の声が元気だと安心し、嬉しい気持ちになります。これもひとえに皆様のご尽力のおかげと感謝しております。

今は年に1, 2回の姉弟の旅を楽しみに頑張っているようです。私達も年を重ねるにつれ、身体的な心配はありますが、姉弟の旅は今後もできる限り続けていきたいと思ひます。

まだまだいろいろとお手数をかけると思ひますが、宜しくお願い致します。

《尾場瀬 恵子・由起子》



冷～アイスタイム！



ワクワク♡男だらけの外出

八月のホーム活動として悠炉里・瑞垣荘の十名で諫早へ外出しました。久しぶりの外出でみなさんとてもワクワク！まずは諫早のトライアルやブックオフで買い物をいい、好きな歌手のCDやアニメのDVDなどを購入しました。

お楽しみの昼食は「焼肉キング」の食べ放題！

ここぞとばかりに注文しお腹いっぱい食事しました。「楽しかった」との声も聞かれ、良い思い出となりました。

また、ワクワクするような活動を計画していきたいと思ひます。(竹市・井上)

つゆるいと



九月十日(日)法人を代表して紫雲荘の利用者四名と山陰会の運動会に参加してきました。一番感じたことは参加者全員が楽しそうだったのが印象的でした。プログラムも時間に余裕があり一つ一つの競技が終わってからの次の招集をする事で、全員が競技を見る事ができ、声援や笑い声が多く楽しそうに見えました。

復興アリーナが会場で、空調が整っており保護者の皆様や参加者が熱中症等の体調不良を訴える事なく最後まで観覧する事が出来ました。

ほかにわ運動会やその他行事も法人理念を承継しつつ利用者に合わせて変革を求められる時期に来ていると感じた日でした。

主任 生川 順一

今後の予定

- 小グループ活動
- ホーム活動
- 悠炉里自治会忘年会
- 餅つき



ティンボールBパート 優勝

九月十六日(土)大村市総合運動公園にて、第四十一回長崎県施設利用者球技大会が開催されました。参加六チームがA Bの二パートに分かれて試合が行われました。当事業所は、ティンボールBパートに入り二試合出場しました。「ボールをよく見て全力プレー」を、合言葉に作業の合間の時間しか練習出来ませんでしたが、練習の成果を最大に発揮。特に打撃が好調でナイスバッシングを連発し大量得点を取って、二勝し優勝

優勝!

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 10月号ホームランを
打つぞ!!

する事が出来ました。勝つ為に声を出し、互いに指示をしあいナイスプレーを見せてくれ、選手全員が来年も、優勝目指して頑張ろうと盛り上がりました。(井上)



ホームランでハイタッチ

待ちにまったランチ外出

8月26日、夏祭り代替行事として、各作業班ごとに分かれて食事に出かけました。被服班は雲仙市小浜町、紙加工班は雲仙市愛野町、園芸班は諫早市へ出発。

事前に利用者の方から食べたいメニューを聞き皆さんとても楽しみにされており、当日になると出発時間までソワソワされている様子でした。

いつもの昼食時とは、違う雰囲気味わう食事はとても美味しく利用者の方も大満足。利用者の方の笑顔に職員一同癒されました。(白石)



ステーキ最高!

HAPPY
BIRTHDAY

毎月15日は、ワークネットやはた利用者の誕生日会となっています。

9月の誕生日者は鴨川肇さん、岡部翔太さん、立木利徳さんの3名です。

15日の給食は特別食となっていて今月のテーマは和食。献立は押し寿司、筑前煮、ゴマ和え、清汁です。デザートにはケーキもあります。

紙加工班で作業されている鴨川さんは今年72歳。ワーク最高齢となられ、日々フタ折り作業に取り組んでいます。行事なども自ら進んで参加されとても活動的な方です。

誕生日を迎えられた3名の方、おめでとうございます。(竹市)



プレゼントに笑顔の鴨川さん



被服班は小浜の定食屋へ



園芸班は諫早のレストランへ



ワークネットやはた この人

今回は永石 悟さんです。

Q)好きな食べ物は何ですか?

「焼きそば、カレーライスです」

Q)趣味は何ですか?

「テレビ、映画鑑賞です。」

Q)休日はどのように過ごしていますか?

「部屋の掃除やテレビを見てます」

園芸班で作業を頑張られている永石さん。

これからも元気にワークを利用してくださいね。



散歩道

八月に新型コロナウイルスが我が家を襲った。六人中五人が感染。妻と私は症状が酷く、実家の両親の助けを借りて一週間の療養生活。症状を経験し「こんなに辛いものだったのか」と思い知った。

新型コロナウイルスで得た一番の教訓は「意識」だと思う。新型コロナウイルスが上陸してから、人々は意識を求められ、意識の差が問題になったりもした。福祉施設でも例に漏れず安心して利用していただける様、より高い意識を持ってサービスを提供するよう努めてきた。

これまでコロナ禍において、行事等はリスク回避の建付けから中止や縮小してきた。今後は教訓で得た高い知識で企画・実行していかなければならないと思う。高い意識を持ち続ける為に、私は欠かさずマスクを着用していく。

(酒井亮裕)

こねは、ねね

石川智広画伯作
『鳥さんおいで』



承認欲求を求めすぎない「あいさつ」

デイ雲柿の木 所長 原口由紀子

私の甥の3歳の息子は、幼稚園に挨拶をする側には大きなメリ

映画ってほんとにいいものですよ

コロナも緩和されたため、螢雲荘にお住まいの皆さんとココウォーク長崎へ行ってきました。

目的は映画を観に行くこと。久しぶりの遠出で、向かう車内でも、到着しても周りが気になり皆さんの視線はキョロキョロ。

しかし、上映中は私が予想していた以上にスクリーンに釘付けで、大迫力の映像と音に、約二時間の上映はあっという間でした。

昼食はお決まりの“ちゃんぽん”を食べ、お土産も買って螢雲荘に戻るとどこからともなく聞こえてきたのは「またよろしく！」の

言葉でした。(森内)

11月の行事

- 4日 ファミリー外出※
- 11日 ほかにわ神社祭
- 22日 誕生会

※印は参加費あり

言の葉

先日、長崎県北松浦郡小値賀町へ生まれて初めて行ってきました。現在身近な親族がいない、ある利用者の出生地で、お墓がある故郷になります。なぜ、行くことになったのかというと、その利用者様が身体面の理由で介護保険施設へサービスを移行することとなり、介護保険制度の性質上、身元引受人が必要となり、その親族探しと、墓じまいの準備をするためでした。お墓の存在は以前から所長が把握しており、お墓の最寄りのお寺に連絡し、今回の小値賀訪問もその住職の方が快くご協力してくださいました。

閑話休題、挨拶をする理由は、人と人との関係を良くするとして、大変重要な行為と言われます。職場でも挨拶をすることで、人としての評価が高まることも多くありますので

挨拶は自己表現のひとつですが、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。

虐待防止をテーマに、施設内研修を開催しました。内容は外部研修を受けた職員の発表と、身体拘束に関する動画視聴で、職員同士の意見交換を含め、一時間強の研修となりました。

普段私たちが行っている支援が虐待に当たらないか、当然の事と思っていないかなど、とても考えさせられる内容だったとの意見が多数。それと同時に、支援の難しさを再確認する研修となりました。参加職員は積極的な声掛けで、当日支援に当たっている職員以外全て出席となりました。研修前にみんなで食べたアイスもとても好評!? だったようです。(松永)



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。



西田 純馬
世話人

グループホームの仲間になりました。宜しくお願いします。

苑田 美沙希
世話人

ようこそ 柿の木へ☆

←嬉しそうに語ってくれた山崎さん

更には、先に挨拶をした方が、格下で負けだとか権威の勝敗に拘っている一言居士もおられるようです。相手に承認欲求を求めすぎないのも大事だと思ふのです。挨拶は先手必勝。幼子の長所を伸ばす教育の如く努めたいです。

郷土の偉人、永野萬蔵(3)

口之津歴史民俗資料館長 松本 昇

4. 鮭の種類

サーモンキングとしての萬蔵について述べる前に、カナダで獲れる鮭にふれておく。

1)「白鮭」(dog salmon)、白身で日本人の味覚にあう。2)「銀鮭」(silver salmon)、肌目が銀色で鱗が剥がれやすい。この鮭はスプーンに勢いよく食いつき、釣り人を楽しませてくれる。3)「紅鮭」

(sockeye salmon)、名前が示す通り、鮮やかな色をしていて美味。4)「キングサーモン」(spring salmon)、世界最大級の鮭で全長2メートルにまで成長することも。食べて最上、刺身に上等。他の鮭の皮は硬くて食えないが、巻き寿司は珍味である。



カラフトマス

5)「カラフトマス」(humpback salmon)、オスの背中(back)はこぶ(hump)のように隆起している。『カナダの萬蔵物語』によれば、「鮭の中では一番下等」とされていた。

5. サーモンキングへの道

1893年(明治26年)、萬蔵は塩漬け製造業を始めようと思った。バンクーバー周辺の川で大量に獲れる鮭を塩漬けにし、日本へ輸出しようとしたのである。資金に余裕のなかった萬蔵は、後に日系人実業家の第一人者になる田村新吉に共同出資の話をもちかけた。が、田村は話になかなかのらなかった。萬蔵は自分の持ち家を担保にすることで、ようやく田村を説得したのである。

萬蔵は、当時のカナダで見向きもされなかった「カラフトマス」に目をつけた。そして他の鮭の20分の1でこの鮭を大量に買い付け、塩漬けにして正月用に日本へ輸出した。最初の年はカシラ付きでなかったのが売れ行きが悪く、しかも妻に死なれて落ち込んだが、翌年からカシラ付きの塩漬けを日本へ輸出して大成功をおさめた。日本への塩鮭輸出は何年も続いた。萬蔵は長年の稼ぎで1897年頃にビクトリア市の中心街に3階建てのビルを建てたが、これは彼が成功したことの証である。(つづく)



永野商会のビル

このような伝説を大本とした島原半島の佐代姫神信仰(しかし全く、領巾を振る・石に化すなどとは程遠いものですが)の場を、今から訪ねて行く。まず最初は何といっても、北有馬町浦口に鎮座します佐代姫神社からだ。

「フラットとしき」を「福祉文化史で見る」に変更した。これまでは、しがとしきの徒然的視点で思い付きの楽しさを書いていましたが、今回からは、福祉文化史の側面も活用しながら書いてみますが三人の執筆となります。これまで通りの松本昇館長の「ふるさと偉人伝」、しがとしき、そして新しく、ふるさとの由縁や歴史に詳しい口之津町出身飯田清親さんが「(仮)口承しまばら嘶」を執筆します。

活用してきた。ダウン症の研究で長いスペースで見ることの必要性、生活文化に加えて宗教の側面からの視点で検証することは必要になった。それは、ダウン症を研究の始めは人類の分類という人種蔑視の側面も散見できたからである。それは本来の人間としての認識すべき行為を逸脱していた。しかし研究の姿勢が人としての営みを論じるまでに約百年経過した。

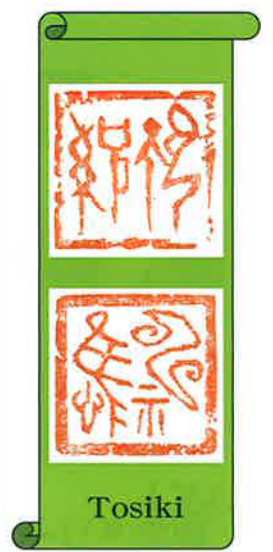
ダウン症の原因が染色体異常で二十一番目がトリソミー(3本)であることから、モングル論争が公称改称運動になり、人という問題が議論されるようになった。つまり福祉文化史で検証することによって、ダウン症の全体像が明らかにされた。因みに、これまでのダウン症研究を、志賀が先行研究論文のタイトルを、伊藤堅逸・水田善次郎・リリアン・シナイの引用参考文献(国際レベル)を俯瞰して見ると、三七五編、時代

島原半島の道祖神(さやかみ)信仰の地を訪ねて
— 子宝・安産・子育て・腰下の病の治癒の祈願 —
郷土史研究者 飯田清親

島原半島は道祖神、佐代姫神信仰の篤い地である。信仰の歴史に詳しい近藤直也先生(元九州工業大学教授)の書かれることによれば、「佐代姫神信仰は北部九州に多く、これまで確かめていたのは、福岡・佐賀・長崎の三県で併せて54か所、長崎県で24か所。そのうち18か所が島原半島に所在する」という。解明するには遠いが、なぜこのように島原半島において「佐代姫神信仰」が盛んであったのかということ、この信仰の場を訪ねて行きたくなる。

— 佐代姫神信仰とは —
「路傍や小祠等において祀られている木像や石像の佐用姫神に祈願する。その内容は良縁・子宝・安産・子育てなど。また特に女性の腰から下の病、男性の陰萎の悩み、性病の予防など、性にまつはる願ひ事が多い。お詣りの時、供えられている男根棒を持って帰ったりするが、願ひ成就のときそれをお返しし、また新たに男根棒・像を奉納する。足腰の弱り・病いの治癒などの時には草履をお供えしたりする。さやの神、さの神、さやん神、とも」

— 佐代姫とは誰か —
佐代姫説話の元の姿は『肥前国風土記』「松浦郡の条」に、次のようにある。
対岸の百済国救援に向かう軍団の将と恋に落ちた郡司の娘日姫子(おとひめこ)は、その別れを悲しみ、烽火(とびひ)の峰に上り領巾(ひれ)を振り続けま



福祉文化史で見る